

平成 21 年 11 月定例教育委員会会議録

1. 日 時 平成 21 年 11 月 26 日(木)午後 2 時 40 分～午後 4 時 00 分

2. 場 所 岸和田市立公民館 3 階 講座室 4

3. 出席者

委員長 毛利 高二 委員長職務代理者 坂田 忠義
委員 宮崎 慶次 委員 川岸 靖代 教育長 永本 定芳

4. 事務局出席者

教育次長兼教育総務部長	西田 寛	生涯学習部長	池阪 雄宏
学校教育部長	樋口 利彦	生涯学習課長	鍋谷 佐和子
総務課長	柿本 邦彦	スポーツ振興課長	元廣 秀晴
学校管理課長	児嶋 英幸	郷土文化室長	近藤 利由
学校教育課長	谷 桂輔	総務課参事	阪田 京子
人権教育課長	岡本 正之	総務課参事	植田 和幸
産業高等学校事務長	宮崎 信男	総務課参事	赤井 敏明

開会 午後 2 時 40 分

前回会議録について異議なく承認された。本会議録署名者に宮崎委員を指名した。
傍聴人 0 名。

報告第 61 号 平成 22 年度主要施策事業の要求について

○ 毛利委員長

報告第 61 号 平成 22 年度主要施策事業の要求について、事務局から説明をお願いします。

○ 柿本総務課長

平成 22 年度各課における新たな施策等の事業内容及び事業経費について、主要施策事業計画として予算主管部局へ要求書を提出するものです。

別紙のとおり、総務課は、小学校給食事業他 1 事業で総額 93,743 千円。学校管理課は、小学校整備事業他 13 事業で総額 607,738 千円。学校教育課は、放課後学習支援事業他 2 事業で総額 25,329 千円。人権教育課は、ありません。生涯学習課は、公民館整備運営事業他 2 事業

で総額 20,785 千円。スポーツ振興課は、スポーツ振興課管理事務事業他 5 事業で総額 179,777 千円。郷土文化室は、文化財収蔵庫整備事業他 4 事業で総額 49,893 千円。図書館は、図書館運営事業他 1 事業で総額 53,245 千円。産業高等学校は、高等学校整備事業他 1 事業で総額 29,188 千円です。よって、教育委員会全体といたしまして、1,059,698 千円です。

なお、平成 22 年度予算編成につきましては、11 月末に一般予算見積書を取りまとめまして、予算主管部局に提出の後、ヒヤリングを受けまして来年 1 月中旬に内示、調整を経まして 2 月の定例教育委員会会議に議案をお諮りさせていただき、3 月の第 1 回定例市議会に予算案を提出いたします。

○ 毛利委員長

説明が終わりました。質疑、意見等がありましたら発言願います。

○ 宮崎委員

今年は、まだこれからですが、例年で言うと要求に対し、どの程度の予算確保が見込まれるのですか。

○ 西田教育次長兼教育総務部長

その辺は、主要施策ということですので、施策的な要素があります。一般経費であれば、委員のご質問のような割合もあるのですが、この種のもので、ゼロということも充分有り得るような性格のもので。

○ 毛利委員長

これらについて、国や大阪府からの補助金等はあるのですか。

○ 西田教育次長兼教育総務部長

今回の資料には、個々の財源内訳は記載しておりません。

○ 永本教育長

課別に補助金がついているものを述べてはどうか。総務課から順番にお願いしたい。

○ 柿本総務課長

総務課は、補助金は無く、全て市の単独予算です。

○ 児嶋学校管理課長

学校管理課は、耐震化事業、増改築事業、教材器具購入事業が補助金の対象です。

○ 谷学校教育課長

学校教育課は、放課後学習支援事業は補助金の対象で、小学校外国語活動支援事業は全額交付金で補填されます。

○ 鍋谷生涯学習課長

学校支援地域本部事業、ふるさと雇用再生特別交付金・緊急雇用創出事業が補助金の対象です。

○ 元廣スポーツ振興課長

ふるさと寄付の 150 万円以外は、全て市の単独予算です。

- 近藤郷土文化室長
文化財データベース化事業については、緊急雇用創出基金事業なので、全て国の補助です。
- 松田図書館長
全て、市の単独予算です。
- 宮崎産業高等学校事務長
全て、市の単独予算です。
- 毛利委員長
図書館分室のある東岸和田市民センターが移転する東岸和田駅前再開発ビルの完成はいつ頃になるのですか。
- 西田教育次長兼教育総務部長
来年の平成 22 年 9 月頃を予定しています。
- 坂田委員長職務代理者
これらの主要施策に対し、これは是非ともというふうに優先順位をつけているのか。
- 西田教育次長兼教育総務部長
まず、各課で優先順位をつけまして、さらに、それぞれの部ごとに優先順位をつけ、予算主管部局へ提出するように昨年度からなっております。それには、事業の優先順位もありますが、予算獲得の戦略も加味して、各課、部で優先順位を決定しています。
- 毛利委員長
100%予算がつけばいいのですが、市の収入額次第で、どこまで予算が付くかが変わるものでしょう。

報告第 62 号 平成 22 年度入園 園児募集結果について

- 毛利委員長
報告第 62 号 平成 22 年度入園 園児募集結果について、事務局から説明をお願いします。
- 柿本総務課長
募集期間は、5 歳児が 10 月 26 日と 27 日、4 歳児は 11 月 4 日と 5 日でした。
各園の応募状況は、別紙のとおりです。結果は、23 園全て募集人員内でしたので、希望した児童は全員、入園いただけることとなりました。
入園希望の受け付け数につきましては、平成 21 年度に比べまして、少子化の傾向もあり、87 名の減少となっております。なお、公立、民間の幼稚園、保育所への入園割合は、例年どおりほぼ 3 分の 1 ずつとなっております。今後は、各幼稚園で募集人員の範囲内で随時受け付けを続けて参ります。
また、この 23 園の幼稚園のほとんどが減少という状態の中で、昨年と比べまして、常盤、光明幼稚園が若干増加しております。これは、地域の開発によるものと思われまます。
- 毛利委員長

説明が終わりました。質疑、意見等がありましたら発言願います。

- 坂田委員長職務代理者

今後の入園希望は、新学期まで随時受け付けるのか。

- 柿本総務課長

はい、新学期まで随時受け付けを行います。また、園児数に大きな増減のない場合は、新学期が始まってからも随時希望があれば入園していただきます。ただ、幼稚園の入園は基本的に住んでいる小学校区の中での希望となります。

毎年、保育所の入所決定が2月にあるため、保育所に入所出来なかった児童が幼稚園を希望することもあります。最近では待機児童が減少傾向にあり、数としては減っています。

報告第63号 「成人式」の開催について、報告第64号 「いきいき市民のつどい」の開催について、報告第65号 岸和田城天守閣次期展示について

- 毛利委員長

報告第63号 「成人式」の開催について、報告第64号 「いきいき市民のつどい」の開催について、報告第65号 岸和田城天守閣次期展示については書面にて報告とします。

3件について、質疑、意見等がありましたら発言願います。

- 毛利委員長

成人式にいつも、箕面市から高校のチアリーダー一部が来てきているが、どのような関係からですか。

- 鍋谷生涯学習課長

当初の人間関係から続いているものです。

- 坂田委員長職務代理者

最近、記念品がでていませんね。

- 鍋谷生涯学習課長

はい、記念品がなくなり、3年目となります。

- 坂田委員長職務代理者

「いきいき市民のつどい」には、岸城中学校の夜間学級の方々が何人か参加されていますね。

- 鍋谷生涯学習課長

はい、今回は2人の方に参加いただける予定です。

- 毛利委員長

最近、岸城中学校の夜間学級の生徒は増えているのですか。

- 西田教育次長兼教育総務部長

あまり、変わっておりません。

- 坂田委員長職務代理者

やはり、高齢者中心ですか。

- 永本教育長
現在、約半分が外国の方で、その他は高齢の方が多いい状況です。基本的には、義務教育を卒業できなかった方が対象ですから、本来の授業は、中学校教育ということになっています。それが、やや日本語の習得という意味あいが出てきており、今後国の対策もみていきたいと考えています。
- 坂田委員長職務代理者
生徒の在日の方も、いろんな国の方がいるのではないですか。
- 樋口学校教育部長
ブラジルの方も増えています。
- 岡本人権教育課長
また最近、中国の方が増えてきています。
- 坂田委員長職務代理者
日本人の場合だと、義務教育未就学の方というのは 80 歳以上の方が多いでしょう。
- 宮崎委員
外国の方が多くなると、授業内容等に変化が出てきているのではないですか。
- 坂田委員長職務代理者
しかし、それなりの意義は大きいと思います。
- 永本教育長
日本語に慣れ親しんでもらうというのは、本来、別の機関ですべきことなのでしょう。大阪府も、今後このことについて、どのように考えていくのか難しいと思います。
- 坂田委員長職務代理者
このまま、その中でケアしていくのか、別に、もうひとつの仕組みをきっちり作っていくのかということが考えられる。
- 宮崎委員
日本語の習得ということについては、文部科学省と外務省とが、うまく連携をとって対応することを期待したい。
- 永本教育長
子どもについては、基本的には世界中どこにいても教育を受けるという世界共通の認識があります。夜間学級の場合は、限定された範囲での活動になっています。
- 毛利委員長
その他に報告について、他に何かありますか。
- 宮崎産業高等学校事務長
産業高等学校より、韓国の漢江（ハンガン）メディア高校との姉妹校の締結について申し上げます。去る 11 月 6 日に、本校において、国際交流の一環として韓国ソウル市永登補（ヨン

ドンポ)区との姉妹都市関係のもと、漢江(ハンガン)メディア高校との姉妹校提携の調印を行いました。

この学校は1995年創立の新しい学校で、27クラス、生徒数860余名の学校です。また、放送技術科、産業デザイン科、写真映像科の3学科の専門高校で、本校にも共通するところが多くあります。今後は、各年の生徒派遣、生徒作品の交換、製作ビデオの上映、生徒同士のメール交換やインターネットを通じて交流事業を進めていきたいと考えております。

○ 毛利委員長

説明が終わりました。質疑、意見等がありましたら発言願います。

○ 毛利委員長

何人位の生徒を派遣するのですか。

○ 宮崎産業高等学校事務長

来年5月に生徒8人の派遣を予定しています。

○ 宮崎委員

コミュニケーションは、英語ですか。

○ 宮崎産業高等学校事務長

韓国の高校には、日本語の学科もあります。今のところ、英語や日本語、韓国語という両方の言葉で交流していきたいと考えています。

○ 永本教育長

今回、来られた先生が日本語を話せるので、別に通訳の方がいましたが、この先生が通訳をしてくれていた。韓国は、日本語に対する感覚が強いと思います。

○ 毛利委員長

来年、日本から行く時には、通訳はどうするのですか。

○ 宮崎産業高等学校事務長

本市の文化国際課と国際親善協会から通訳を含め、何人か同行してもらう予定です。

○ 岡本人権教育課長

韓国語と日本語は並びが同じなので、韓国の子どもは、日本語を習得するのが早いと聞いています。単語も似ており、日本人も学べば、習得が早いと思われます。

○ 毛利委員長

その他に報告について、他に何かありますか。

○ 谷学校教育課長

前回の委員会で出た学力調査のところで、アンケート調査の部分で、子どもたちの生活状況について昨年度同様、保護者向けのリーフレットを作成し、配付する予定です。

リーフレットの昨年との違いは、サイズを大きくしたこと、幼稚園の保護者の方にも配布予定であること、携帯の使用についての質問項目を増やしたこと、最後のところに、教育相談室の利用案内を掲載したことなどがあります。

- 毛利委員長
説明が終わりました。質疑、意見等がありましたら発言願います。
- 毛利委員長
生活状況は、改善されてきていますね。
- 谷学校教育課長
はい、昨年に比べ若干ですが、改善がみられますので、繰り返して保護者にも協力を求めていきたいと考えています。
- 川岸委員
中学3年と小学6年以外の学年でも、これを見て先生と子どもたちが話しをする場があればいいと思います。
- 毛利委員長
次回のこの調査は、抽出式にするという話があるようですが。
- 永本教育長
今は、40%で出しているが、統計的には、6%でいいということであるらしい。参加型で、集計や採点を学校側に押し付けていい問題なのか。次年度以降、はっきりした姿が出てから、議論いただく必要があると考えています。
- 毛利委員長
その他に報告について、何かありますか。
- 児嶋学校管理課長
前回の議案 43 号の太陽光発電の部分で、性能の面での説明について補足させていただきます。太田小学校、野村中学校に太陽光発電装置をおのおの 25 キロワットの性能のものを設置する予定です。その発電量ですが、25 キロワットのパネルを設置した場合、年間の予想発電電力量は 26,649 キロワットで、一方、太田小学校の年間電気消費量は 134,240 キロワット、野村中学校の年間電気消費量は 139,285 キロワットで、それぞれ 19.9%、19.1%の自給率となります。大きさについては、1 キロワットの発電に約 7 平方メートルのパネルが必要になります。よって、25 キロワットだと 175 平方メートル（教室で 3 教室）の広さとなります。
- 毛利委員長
説明が終わりました。質疑、意見等がありましたら発言願います。
- 毛利委員長
年間でいくら位の節約になるのか。
- 児嶋学校管理課長
年間約 40 万円の節約が見込まれます。率にして約 14%となります。
- 毛利委員長
耐用年数は何年位ですか。
- 児嶋学校管理課長

パネル自体は、かなりもちますが、発電される電気は直流なので、使用するとなると交流に変換する必要があります。その装置を10年ごとに買い換えると聞いています。

- 宮崎委員
25キロワットで、どの位の重量ですか。
- 児嶋学校管理課長
1平方メートルで、40kg。よって、175平方メートルだと計7トンとなります。
- 永本教育長
これに係る国の予算は、今後も補助金がついていくと言う流れのものですか。
- 西田教育次長兼教育総務部長
これにつきましては、環境政策の関係もありますので、おそらくついていくものと思われま
す。
- 坂田委員長職務代理者
屋根が屋上型になっている学校でも設置出来るのか。
- 児嶋学校管理課長
2校とも陸屋根で、野村中は勾配屋根もあります。南向きで30度の角度での設置が一番受
光効率がよいといわれているが、今後、学校の利用も踏まえて設置場所を検討したいと考えて
おります。

- 毛利委員長
次に、案件に入ります。

議案第44号 平成22年度岸和田市立産業高等学校入学者選抜実施要項について

- 毛利委員長
議案第44号 平成22年度岸和田市立産業高等学校入学者選抜実施要項について、事務局か
ら説明をお願いします。
- 柿本総務課長
大阪府立の高等学校の入学者選抜実施要項が決定しましたので、それに準じて、産業高等学
校全日制及び定時制の入学者選抜にかかる応募資格、募集人員及び出願方法等を定めるもので
す。
(別紙要項説明)
- 宮崎産業高等学校事務長
本校の入試制度について、説明いたします。
平成14年度までは、募集の半数を2月に実施し、残りの半数を一般入試として、府立に合
わせて実施してきました。その後、大阪府の入試改革によりまして、平成15年度から全日制
の280名を一括して2月の府立高校の前期試験で、定時制は3月の府立高校の普通科の後期試

験に合わせています。

ちなみに、今年度入学は3科の合計280名の募集に対し、417名の応募があり競争率は1.49倍で、定時制は80名の募集に対し、72名の応募があり、競争率は0.9倍でした。

○ 毛利委員長

説明が終わりました。質疑、意見等がありましたら発言願います。

○ 毛利委員長

産業教育審議会の今の状況はどうなっていますか。

○ 樋口学校教育部長

現在、審議会は合計5回実施しております。初めは、審議会委員に実際に産業高等学校をご覧いただき、その後、回を重ねて入口（入学）、学科の内容、出口（卒業）について議論していただいているところでございます。次回の12月初旬の6回目で、素案をまとめたいと考えております。

今後の予定ですが、今年度中に答申案を出していただき、来年2月中には教育委員会に提出できる運びと考えております。

○ 毛利委員長

実際の運用は、2年後からになるのか。

○ 樋口学校教育部長

はい、来年2月の答申を受けて、まず産業高等学校と教育委員会事務局で協議した後、本教育委員会にはからせていただき、実際には、平成23年度から進めていくことになると考えております。

○ 毛利委員長

他に質疑、意見等がないようですので、本件について、原案のとおりとすることにご異議ございませんか。

○ 委員

異議なし。

○ 毛利委員長

ご異議がないようですので承認します。

実施要項に沿って、募集、学力検査、入学者の選抜及び合格者の発表を実施してください。

議案第45号 人事案件について

○ 毛利委員長

議案第45号は、人事案件につき、非公開が適当と考えますがいかがですか。

(委員の同意意見)

○ 毛利委員長

非公開への賛同がありましたので、議案45号 人事案件については、非公開とします。

関係者以外は退席願います。

(関係者以外退席)

(審議)

閉会 午後4時00分

本会議録に相違ないことを認め署名する。

委員長

署名委員